

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】令和6年4月26日(2024.4.26)

【国際公開番号】WO2023/013430  
 【出願番号】特願2023-540249(P2023-540249)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/02(2006.01)

H 0 1 H 13/00(2006.01)

H 0 1 H 13/52(2006.01)

H 0 3 K 17/955(2006.01)

10

【F I】

G 0 6 F 3/02 F

H 0 1 H 13/00 B

H 0 1 H 13/52 F

H 0 3 K 17/955 G

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月19日(2024.1.19)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静電容量センサから出力されるセンサ値を周期的に繰り返し取得し、取得したセンサ値を時系列のセンサデータとしてメモリに記憶させる取得ステップと、

取得されたセンサ値が第1閾値を超えたか否かを判定する判定ステップと、

前記第1閾値を超えたと判定されたセンサ値、及び、当該センサ値から順に過去の複数のセンサ値をそれぞれ対象センサ値として、対象センサ値と当該対象センサ値の直前のセンサ値との差分を、対象センサ値の第1差分値として算出する第1算出ステップと、

30

前記第1閾値を超えたと判定されたセンサ値、及び、当該センサ値から順に過去の複数のセンサ値の各々を対象センサ値として、対象センサ値の第1差分値と、当該対象センサ値の直前のセンサ値の第1差分値との差分を、対象センサ値の第2差分値として算出する第2算出ステップと、

算出された第2差分値と第2閾値とを比較し、比較結果に基づいて前記センサデータから一のセンサ値を選択する比較ステップと、

選択されたセンサ値を出力する出力ステップと、を含む、

検出方法。

40

【請求項2】

前記比較ステップでは、前記比較結果に基づいて前記第2閾値を超えた第2差分値に対応する対象センサ値の直前のセンサ値を選択する、

請求項1に記載の検出方法。

【請求項3】

前記比較ステップでは、前記比較結果に基づいて前記第2閾値を超えた第2差分値が複数存在する場合に、当該複数の第2差分値の各々に対応する対象センサ値のうち、最も過去のセンサ値の直前のセンサ値を選択する、

請求項1又は2に記載の検出方法。

【請求項4】

50

前記出力ステップでは、前記判定ステップによる判定結果をさらに出力する、  
請求項 1 又は 2 に記載の検出方法。

【請求項 5】

静電容量センサから出力されるセンサ値を周期的に繰り返し取得し、取得したセンサ値  
を時系列のセンサデータとしてメモリに記憶させる取得部と、

取得されたセンサ値が第 1 閾値を超えたか否かを判定する判定部と、

前記第 1 閾値を超えたと判定されたセンサ値、及び、当該センサ値から順に過去の複数の  
のセンサ値をそれぞれ対象センサ値として、対象センサ値と当該対象センサ値の直前のセ  
ンサ値との差分を、対象センサ値の第 1 差分値として算出する第 1 算出部と、

前記第 1 閾値を超えたと判定されたセンサ値、及び、当該センサ値から順に過去の複数の  
のセンサ値の各々を対象センサ値として、対象センサ値の第 1 差分値と、当該対象センサ  
値の直前のセンサ値の第 1 差分値との差分を、対象センサ値の第 2 差分値として算出する  
第 2 算出部と、

算出された第 2 差分値と第 2 閾値とを比較し、比較結果に基づいて前記センサデータか  
ら一のセンサ値を選択する比較部と、

選択されたセンサ値を出力する出力部と、を備える、  
検出装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の検出装置と、

前記静電容量センサと、を備える、  
検出システム。

10

20

30

40

50